

## 家庭と学校との連携について 考える会

第2回開催日 令和7年（2025年）10月8日

第3回開催日 令和7年（2025年）11月18日

会場 熊本市教育センター

第2回の会で検討したアンケート項目に基づき、作成したアンケートを10月末に実施しました。対象は、市立の小学校・中学校・特別支援学校の全保護者・全教職員です。みなさまのご協力ありがとうございました。

第3回では、そのアンケート結果を受けて委員間で協議・意見交換を行いました。



アンケートの結果はこちらに掲載しています

➡[熊本市ホームページ地域教育推進課](#)



### アンケート結果をふまえた委員の主な意見

#### ○学校からの情報提供を求める保護者が多い

学校だより、学級通信、担任からの連絡など、学校側からの積極的な情報提供を求める声が多く寄せられました。

#### ○第三者機関の必要性を感じる教職員が多い

保護者と教職員の間を仲介する第三者的な機関（例：学校コンシェルジュ、相談窓口等）を必要と考える教職員が多い傾向が見られました。

#### ○PTAなどの組織や団体の役割と課題について

PTAはマンパワーとしてだけでなく、地域とのつながりやこどもたちの学びを支える場でもあるので、活動の意義や魅力を発信していく必要があります。

#### ○教職員は行事やイベントのサポートを望む傾向

教職員側では、行事運営や学習支援などマンパワーとしての協力を期待する意見が多く見られました。

### PTA活動や連携に関する具体的な意見（抜粋）

質問：家庭と学校との連携のためにPTAとして取り組むべき活動はどのようなものがあると思いますか。

#### 保護者側で多かった要望

- ・ 行事・イベントの支援
- ・ 安全見守り・防犯・交通安全の強化
- ・ 地域連携やコミュニティづくり
- ・ 役員負担の軽減や活動の見直し
- ・ 広報・情報発信の充実

#### 教職員側で多かった要望

- ・ 学校行事への協力・サポート（マンパワー）
- ・ 学習支援や読み聞かせなどの教育支援
- ・ 環境整備（美化・除草・施設管理）
- ・ 登下校の見守り・安全対策
- ・ 地域や外部団体との連携強化



# 家庭と学校との連携について考える会



## 委員からの意見と今後の方向性

### 連携の意義

・連携の目的は「こどもの成長を家庭と学校とで共に支えること」であると再確認されました。

### 学校側の情報発信

・学校から家庭への情報提供をより積極的に、分かりやすく行うことが求められています。担任以外の窓口設置や「お悩みボックス」など、相談しやすい仕組みの導入も提案されました。

### 参加しやすい仕組みづくり

・参加が難しい保護者の負担を減らす工夫（役割分担の見直し、短時間で参加できる活動の導入など）が必要です。  
・「楽しそう」「参加してみたい」と感じられる広報やイベント設計が重要です。

### 相談窓口設置の検討

・相談しやすい窓口の設置を検討する必要があるとの意見が出ました。これにより教職員の負担軽減や保護者からの相談対応が期待されます。

### PTAの任意性と重要性の周知

・教育委員会と市PTA協議会が連携し、PTAの任意性や保護者組織の意義を広く周知する取り組みが必要です。

### 今後の取り組み（予定・提案）

・学校からの情報発信方法の見直し（媒体・頻度・窓口の多様化）  
・PTA活動の負担軽減に向けた具体策の検討（役割分担、短時間参加型の導入）  
・保護者が参加しやすいイベントや広報の工夫



#### おわりに

今回のアンケートと協議を通じて、保護者と学校が互いに理解し合い、子どもを中心とした連携を深めることの重要性が改めて確認されました。今後も皆様のご意見を反映しながら、より良い連携の形を模索してまいります。



お問い合わせ 熊本市教育委員会 地域教育推進課 (328-2276)